

Rich ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第70号

ななえ古写真物語

VOL. 70

乾草運搬の景

七重官園写真帳より

明治11年ごろ

七飯町本町



この写真は、明治11年ごろに撮影されたと考えられる「第一家畜房」と呼ばれる施設です。右側に写っている建物の上層にスロープが続いており、2頭の牛が荷車いっぱいに積まれた乾草を運び入れようとしているのがわかります。

明治期の七飯町は、開拓使の農業試験場が設置されていた為、事務所や牛舎など西洋風の建物が立ち並び、およそ日本らしくない景色だったといわれています。また、農業試験場では西洋式の農法を導入し、全国的に普及するための人材育成や技術伝習に務めていましたので、当時の日本の中でも最先端の技術を集結させ、果樹苗木の育成・培養をはじめ、バターやチーズ、ジャムといった加工品の試作実験なども行われていました。

このような技術の指導は、「御雇外国人」と呼ばれる人々に任せられました。奇しくも、今回紹介する家畜房の設計には、現在、七飯町と姉妹提携を結んでいるアメリカのマサチューセッツ州コンコード市出身のウィリアム・ホイラーという人物が関わっているといわれることから、歴史を超えた縁の様なものを感じずにはいられません。

さて、この家畜房は、別名「バーン」とも呼ばれ、当時七飯町に2棟設置されていました。そのひとつが、明治11年に竣工したこの「第一家畜房」で、現在の七重小学校の向かいあたりに建てられました。そしてもう一つが明治13年に竣工した「第二家畜房」で、鳴川地区にある七飯町果樹センターのあたりに建てられていました。

大きさに若干の差異はあるものの、両者の建築構造は殆ど変わらず、米国式家畜房をベースに設計され、2階部分に相当する上層は乾草置き場、中層は牛馬の飼育スペース、地下になる下層は糞などを集め、堆肥を生産したり、豚の飼育をするという三層構造になっていました。

さらには、建物中央の最上部に通風のために空気抜が設けられ、その屋根には「天狗束」と呼ばれる柱を立て「風見鉄板製牛馬」が取り付けられていたといえます。残念ながらこの写真では、風見鉄板製牛馬の様子がわかりませんが、最近、函館市でこの写真のガラス原版が見つかり、第一家畜房の姿がよりリアルに伝えられるようになりました。

写真が伝える情報量の多さを改めて実感させられた家畜房の話でした。

4日 夜の博物館第4回「ななえの星空を見る」を開催しました。講師に星村明輝氏をお招きしましたが、残念ながら天候が悪く屋外での観察は断念。室内で映像をみながら、この時期にみられる星座について、ギリシャ神話を交えながらお話し頂きました。よく見ているようで、あまり知らない星空の世界に参加者の皆さんも興味津々でした。



残念ながら室内で



16日 ふぁみりーでいみゅーじあむを開催しました。第1回目は「月見だんごをつくろう」と題して、白玉粉を使っただんご作りに挑戦です！
最初に、学芸員から月見と秋の七草について解説があり。その後、歴史館友の会の指導のもと、白玉粉と水を混ぜて少しずつこね、さらに、上新粉とあわせ生地をつくりました。出来た生地を小分けにした後、手でまるめ、茹であげました。
しょうゆダレも自分たちでつくって実際に試食！！
おいしかったかな？

26日 ジュニア探検クラブで「収穫を楽しむ」と題し、春に植えた男爵薯を収穫して、カレー作りに挑戦しました。
まずは、畑でイモの収穫です。掘るとゴロゴロと大粒のイモが出てきます。中にはスコップでイモを切ってしまう子もいましたが、結果的には豊作だったようです！そして、その後は、自分たちでカレー作りを・・・特に解説もなく作ってもらったのですが、どの班もおいしいカレーができましたよ。



11月の予定

1	金
2	土
3	日 文化の日
4	月 振替休日
5	火
6	水
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月
19	火
20	水
21	木
22	金
23	土 勤労感謝の日
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木
29	金
30	土 ジュニア探検クラブ

※11月の休館日はありません。

リンゴジャム販売中！

今年も、当館で栽培しているリンゴを原料にしたジャムを販売しております！1個300円です。ご希望の方は事務室までお申し付けください。



編集後記 ~tawagoto~

先日、久しぶりの出張で遠方へ行くことになった。しかし、大型台風の接近により、移動初日は終始雨に見舞われた・・・だけなら良いのだが、追加注文を受けたかのように雪まで降ってくる始末。あたりの山々は白い帽子をかぶりつつも、赤・黄・緑など色とりどりの衣を纏っていた。

まさに、秋と冬の素敵なコラボレーション！！
って余裕なことを言えるのは、無事に戻ってこれたからなのですけれど・・・。（やまだひさし）

Richard

～ピチャリ～

第70号

平成25年10月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp